



図209 水田の農法と生物多様性保全

資料：片山直樹ほか『水田の多様性に配慮した農法の保全効果』

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/seitai/70/3/70\\_201/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/seitai/70/3/70_201/_pdf/-char/ja)

- 注：1) 農林水産省の全国調査（2017-19年）によって得られた各取組みの実施区・対照区における生物多様性のスコア（カエル等の個体数に基づいて計算）に基づく構成比である。  
 2) IPM（総合的病害虫・雑草管理）とは、経済性を考慮しつつ、適切な手段を総合的に講じることにより病害虫・雑草を防除する取組みである。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」 <http://food-mileage.jp/>